

日 時	プログラム	日本の登壇者（順不同、敬称略）
13日		
9～17時	国際作業部会や常設委員会の会合	
14日		
9時～	開会	水嶋智（国土交通省） 藤田友敬（東京大）
9時45分～	ベリンジェリ（Berlingieri）・レクチャー	
11時～	全体会合：将来の海上輸送に向けた最近のテクノロジーと経験	大坪新一郎（運輸総合研究所） 舟本浩（国交省海事局） 小山智之（日本海洋科学） 安藤英幸（MTI） 清水悦郎（東京海洋大）
14時～	1、国際作業部会の作業の進捗－海事分野の脱炭素と産業界の知見	畔上雅彦（日本政策投資銀行） 高橋正裕（日本海洋科学）
		引間透（商船三井）
	2、Lex Maritima－東京草案	藤田友敬（東京大）
16時～	3、困難なグローバル・セキュリティの状況における敵対行為や不正行為への対応	
	4、Lex Maritima－東京草案	
		藤田友敬（東京大）
15日		
9時～	5、アジア太平洋の知見：各国海法会の見解 6、自動運航船（MASS）	池山明義（阿部・阪田法律事務所） 後藤元（東京大）
11時～	7、クルーズ産業の法的課題	増田史子（岡山大）
	8、自動運航船（MASS）	南健悟（慶応大）
	9、裁判上の船舶の売買の国際的効果に関する北京条約およびロッテルダム・ルールの発効促進	藤田友敬（東京大）
14時～	10、衝突条約	
		笹岡愛美（横浜国立大）
16時～	11、極域航行	
	12、IOPCおよびHNS基金の将来	奥田耕史（石油海事協会）
16日		
9時～	13、浮体式オフショア再生可能エネルギー施設（MORU）に関する質問票への回答およびMORUの統一枠組のための事例	
	14、アカデミック・セッション	
		小出篤（早稲田大）
17日		
9時～	全体会合：Lex Maritima に関する決議案	
11時～	Young CMI 海事法のデジタル・トランスフォーメーション：電子船荷証券（BL）における法の発展と課題に関する比較検証	山下和哉（東町法律事務所）
13時30分～	CMI総会	